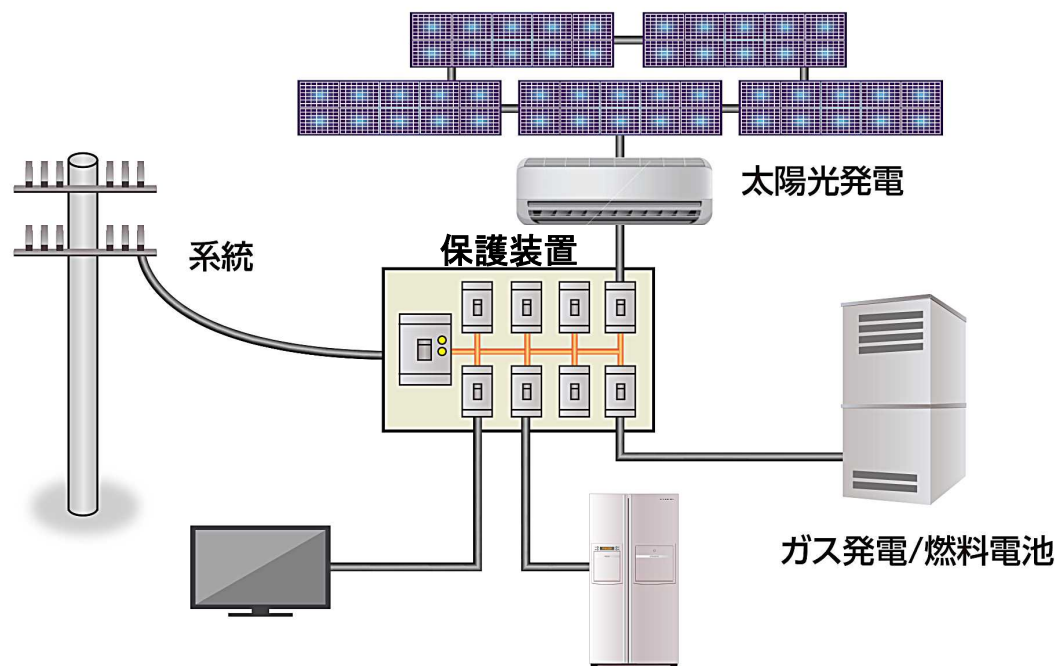


# 過電流・短絡保護

過電流は回路の許容電流以上の電流が流れてしまうことで、負荷の使いすぎ(過負荷)の状態を指し、短絡電流は過電流の一種で絶縁不良などにより回路が直接接続、あるいは低インピーダンスで接続されてしまう状態を示します。系統連系発電設備を連系させている系統側に過電流(短絡電流)が発生した場合に、これを検出し遮断することで、回路の電線損傷の危険性を回避できます。



発電設備側としても単独で過電流保護機能を備えています。負荷回路の過電流に関しては、系統側の保護装置(ブレーカ、ヒューズ等)と併用して保護されなければなりません。